

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【381】
2. 日時：令和5年2月1日 13時30分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、
谷口技術参与

技術基盤グループ

大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他4名

電源事業本部 耐震設計土木グループ 他4名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい、原子力規制庁の千明です。それでは島根原子力発電所 2 号機、設工認のヒアリングを始めます。本日午後の説明項目は、
0:00:12	共同計算消防排気ミナミ開始重力擁壁となります。それでは、本日の説明の進め方や、資料、
0:00:21	の確認についてお願いします。
0:00:25	はい。中国電力の沢です。本日は防波壁なり改修攻撃の強度計算についてご説明をさせていただきます。
0:00:32	まず新規説明となりますので説明の方、大体 15 分程度でご説明していただきましてそのあと、
0:00:40	質疑をいただけたらと思っております。
0:00:42	はい。では資料確認の方させていただきます。
0:00:46	まず
0:00:47	N-S2 ほか 231 回 19、回答整理表になります。提出日は 1 月 26 日。
0:00:54	こちら資料番号 1 番とさせていただきます。
0:00:58	N-S2.3015-01 回 03。
0:01:03	A6 のさあ、江藤教授計算の基本方針、こちらは以前提出したのとなります。12 月 8 です。こちら資料番号 2 番とさせていただきます。
0:01:13	N-S2.301502、
0:01:17	和気何か 19 駅の強度経産省、
0:01:20	1 月 26 日提出、こちら 3 番の資料とさせていただきます。
0:01:25	そしてN-S日本 02708 回 23 補足説明書になりますが、
0:01:30	こちら資料、A4 判の資料とさせていただきます。おそろいでしょうか。
0:01:37	はい。資料の方確認できました。
0:01:45	中国電力の小池です。
0:01:47	それではまず、資料番号 1 の回答整理表でございますが、榎並甲斐氏重力擁壁影響度計算書に関する補足説明につきましては、
0:01:56	本日は、初回の説明になりますので、資料番号 1 の回答整理表での説明はございません。
0:02:04	続きまして、資料番号 3 のさ見返し重力擁壁の強度計算書でございますが、
0:02:10	こちらは放水路計装の評価の見直しの内容や、
0:02:14	多重交換杭式を経ていただきましたコメントの津波時と重畳時の境界条件や解析モデルの適正化反映されておりませんので、資料番号 4 の、
0:02:24	強度計算書の補足説明のほうで説明をさせていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:29	補足説明の内容、今後、強度計算書にも反映していきますので、今回の説明は割愛をさせていただきます。
0:02:37	続きまして資料番号4の見返し重力擁壁の強度計算書に関する補足説明につきまして、ご説明をさせていただきます。
0:02:47	通し番号3ページをお願いいたします。
0:02:52	本日の説明範囲は、赤枠の範囲になります。
0:02:57	通し番号5ページをお願いいたします。
0:03:01	見返し重力擁壁に要求される機能の維持を確認するに当たりまして、
0:03:06	津波、余震、漂流物の衝突、風及び積雪を考慮した荷重に対し、
0:03:12	施設地盤の構造健全性を保持すること。
0:03:15	十分な新性能を有する地盤に設置していること。
0:03:18	及び主要な構造体の境界部に設置する部材が有意な漏えいを生じ返金と止めることを確認する方針としております。
0:03:28	続きまして通し番号10ページをお願いいたします。
0:03:32	こちら、評価方針をお示ししております。
0:03:36	見返し重力要否の強度評価は、津波時及び重畳時において実施をします。
0:03:43	通し番号11ページをお願いいたします。
0:03:48	11ページから17ページに、見返し重力擁壁の各部位の役割、性能目標、評価項目及び評価フローをお示ししております。
0:03:58	波回収力擁壁の各部位のうち、
0:04:01	重力擁壁、MMR及び改良地盤の健全性評価、基礎地盤の申請の評価並びに止水目地の変形性評価につきましては、
0:04:11	二次元有限要素法、
0:04:14	設計損の健全性評価につきましては3次元構造解析により行います。
0:04:20	続きまして通し番号23ページをお願いいたします。
0:04:25	こちらでは評価対象断面をお示ししております。
0:04:29	評価対象断面といたしましては、先行してご説明している、耐震計算と同様でございます。
0:04:35	ただし評価対象断面のうち、5号ダムにつきましては、重畳時の評価において、見返し重力擁壁前面の敷地高さである。
0:04:44	EL8.5メートルは重畳時における津波水位、
0:04:48	海域活断層から想定される地震による津波である、津波水位L4.9メートル。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:54	高い位置に設置されておりますので、重畳時の評価を実施しない方針としております。
0:05:01	通し番号 44 ページをお願いいたします。
0:05:06	荷重及び、荷重の組み合わせについてお示しをしております。
0:05:11	ページの中段にお示ししております。遡上津波荷重につきましては、
0:05:16	津波時には日本海島縁部に想定される地震による津波津波水位のEL 12.6メートルを、
0:05:22	重畳時には、海域活断層が想定される地震による津波、津波水位EL、4.9メートルを遡上津波荷重として考慮しております。
0:05:33	遡上津波荷重につきましては、これまでのヒアリングでご説明しました通り、
0:05:38	引地高、以上では、浅倉執行。
0:05:40	引地高石委員では、谷本式により算定をしております。
0:05:45	通し番号 45 ページに、各断面の津波時及び重畳時の遡上津波荷重をお示ししております。
0:05:55	通し番号 46 ページをお願いいたします。
0:05:59	こちらのページの上段にお示ししております。
0:06:02	重畳時の余震荷重としましては、
0:06:05	弾性設計を地震動Sd-Dを考慮しております。
0:06:10	ページ中段の調達荷重につきましては、多重交換杭式擁壁と同様に、
0:06:16	施設全体に作用する津波漂流物による衝突荷重を設定しております。
0:06:22	通し番号 48 ページをお願いいたします。
0:06:28	各断面の防配置に作用する衝突荷重をお示ししております。
0:06:33	防波壁に作用する衝突荷重は、ページ中段の左の図で示しております通り、漂流物対策工による荷重分散を考慮し、衝突1月の基準津波高さである12.6メートルとしております。
0:06:48	続きまして通し番号 50 ページをお願いいたします。
0:06:53	ページ火山に津波及び重畳時における荷重の作用図をお示ししております。
0:07:00	続きまして通し番号 57 ページをお願いいたします。
0:07:09	失礼しました通し番号 51 ページをお願いいたします。
0:07:14	51 ページから 56 ページに許容限界をお示ししております。
0:07:20	通し番号 54 ページをお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:24	耐震計算のヒアリングコメントを踏まえ、放水炉ケーソンの圧縮応力度とせん断応力度の許容限界を遠藤されている原子力施設鉄筋コンクリート構造計算基準同解説の
0:07:37	2005 年に変更をしております。
0:07:41	続きまして通し番号 57 ページをお願いいたします。
0:07:47	津波時の解析方法についてお示しをしております。
0:07:51	津波時には日銀、静的有限要素法により、応答解析を実施しております。
0:07:57	解析方法は耐震計算と同様に、2 断面 33 断面 4 断面は、有効力解析。
0:08:03	5 号断面は、全応力解析としております。
0:08:07	解析コードといたしましては、有効応力解析やFLIP、
0:08:11	全応力解析アップを使用しております。
0:08:15	次のページをお願いいたします。
0:08:18	ページ中段に、材料物性及び地盤物性のばらつきについてお示しをしております。
0:08:25	強度評価におきましては、先行してご説明している逆T用地と同様の理由から、地盤物性のばらつきによる対津波評価に対する照査値に与える影響は軽微であるため、地盤物性のばらつきを考慮しない方針としております。
0:08:40	通し番号 60 ページをお願いいたします。
0:08:46	通し番号 60 ページから 85 ページにかけて、解析モデル及び諸元についてお示しをしております。
0:08:54	通し番号 65 ページをお願いいたします。
0:09:00	境界条件につきましては、多重交換杭式様式の強度計算書の補足説明資料と同様の考え方としております。
0:09:12	続きまして通し番号 86 ページをお願いいたします。
0:09:19	通し番号 86 ページから 91 ページに、評価方法をお示ししております。
0:09:30	通し番号 92 ページをお願いいたします。
0:09:36	重畳時の解析方法についてお示ししておりますが、記載に誤りがあるため、訂正をさせていただきます。
0:09:44	ページ中段に、
0:09:46	5 号断面の解析方法は、全応力解析とすると。
0:09:50	記載がございしますが、重畳時においては、法断面の重畳時の評価は実施しないため、記載は誤りです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:57	申し訳ございません。
0:09:59	重畳時には、日銀動的有限要素法により、応答解析を実施しております。
0:10:05	解析コードといたしましては、津波時と同様にFLIPを使用しております。
0:10:11	通し番号 93 ページをお願いいたします。
0:10:16	解析ケースをお示しております。
0:10:19	余震荷重として弾性設計を地震動Sd-Dを考慮したケースを選定しております。
0:10:26	なお、地盤物性のばらつきについては、津波と同様の理由から、考慮しない方針としております。
0:10:33	続きまして通し番号 95 ページをお願いいたします。
0:10:39	95 ページから 101 ページに、2 断面、3 段目 4 段目における入力地震動の加速度時刻歴は系と、
0:10:48	加速度応答スペクトルをお示しております。
0:10:54	通し番号 102 ページをお願いいたします。
0:10:59	102 ページから 107 ページに解析モデルの諸元及び評価方法をお示しておりますが、
0:11:06	津波時と基本的には同様であるため説明は割愛をさせていただきます。
0:11:13	通し番号 112 ページをお願いいたします。
0:11:21	112 ページから 128 ページに、津波時の評価結果をお示しております。
0:11:29	各調査において、許容限界以下であることを確認をしております。
0:11:35	通し番号 129 ページをお願いいたします。
0:11:41	129 ページから 143 ページに重畳時の評価結果をお示しております。
0:11:48	こちらも同様に、各調査において、許容限界以下であることを確認をしております。
0:11:54	津波時重畳時ともに、地震時の方が厳しい結果となっております。
0:12:01	通し番号 144 ページをお願いいたします。
0:12:08	3 次元構造解析についてお示しをしております。
0:12:13	耐震評価と同様に、ケーソンは複数の隔壁を有しており、
0:12:17	部材を適切に評価するため 3 次元構造解析により強度評価を実施しております。
0:12:23	3 人構造解析は、常時応力解析を行い、その上で、津波時または重畳時における解析を行っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:31	重畳時におきましては、損傷モード等及び部材ごとに評価が厳しくなる時刻を選定し、
0:12:37	当該時刻における荷重を設定して、計算各部材の強度評価を実施しております。
0:12:45	通し番号 145 ページをお願いいたします。
0:12:49	耐震計算のヒアリングコメントを踏まえ、図 5-1-1-1 の、検査の評価フロー図について、
0:12:56	3次元線形解析から三次 2030 日線形解析の流れがわかるように修正をしております。
0:13:04	納付強度計算では線形解析で、許容限界におさまっているため、線形解析を行っておりません。
0:13:11	通し番号 146 ページから 150 ページには 3次元構造解析モデルをお示ししております。
0:13:21	通し番号 163 ページをお願いいたします。
0:13:31	重畳時における照査時刻の設定についてお示しをしております。
0:13:37	3次元構造解析における調査時刻については表 5-3-5-1 に示しており、
0:13:43	時刻 1 として、ケーソンの調定盤間で変位が最大となる時刻、
0:13:48	時刻 2 として、総水平荷重が最大値の時刻の時刻について実施をいたします。
0:13:55	当初は 565 ページをお願いいたします。
0:13:59	津波時における入力値をお示ししております。
0:14:03	入力値の一覧表に各断面の入力のイメージを図にお示しをしております。
0:14:12	続きまして通し番号 168 ページをお願いいたします。
0:14:20	重畳時における 3次元構造解析への入力イメージ図をお示しておりますが、
0:14:26	記載に誤りがあるため訂正をさせていただきます。
0:14:29	図中の重力擁壁部分に、
0:14:32	遡上津波荷重と漂流物の衝突荷重がかかるような記載になってございますが、重畳時においては重力要否に関しましては、遡上津波荷重も漂流衝突荷重も考慮しないため、記載は誤りです。
0:14:45	申し訳ございません。
0:14:48	続きまして通し番号 176 ページをお願いいたします。
0:14:54	こちらで評価方法をお示ししております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:58	評価方法といたしました先行性ご説明している耐震計算と同様であるため、説明は割愛をさせていただきます。
0:15:08	通し番号 181 ページをお願いいたします。
0:15:17	181 ページから、188 ページに、各断面の津波時における最大照査値の一覧をお示ししております。
0:15:27	各調査で、許容限界以下であることを確認しております。
0:15:34	通し番号 191 ページをお願いいたします。
0:15:39	191 ページから 197 ページに、各断面の重畳時における最大照査値の一覧をお示ししております。
0:15:48	こちらも同様に、各調査で、許容限界以下であることを確認しております。
0:15:53	津波事象時ともに、地震時の方が厳しい結果となっております。
0:15:59	通し番号 198 ページをお願いいたします。
0:16:06	参考資料 1 としまして、発生応力の平均化についてをお示ししております。
0:16:13	耐震計算と同様、ケーソンの強度評価において発生する応力度が、許容限界を上回る要素がある場合は、部材厚以下となる範囲で、経応力の平均化を実施しております。
0:16:26	通し番号 201 ページをお願いいたします。
0:16:31	応力平均化を実施した解析ケース、及び部位の平均化後の操作値についてお示ししております。
0:16:40	平均化後の調査において、許容限界を満足していることをこちらで確認しております。
0:16:48	ご説明は以上となります。
0:16:52	はい、水道チギラです。はい。ご説明ありがとうございました。
0:16:56	それでは、今の説明に対して確認する点がある方、お願いします。
0:17:08	あ、規制庁のミウラです。
0:17:11	少し、添付資料の方から確認をしていきます。資料 3 番をお願いします。
0:17:20	資料 3 番の 5 ページ 6 ページなんですけど、
0:17:24	これ
0:17:26	正面図と断面図でこれスケールが合っていないですね。
0:17:31	上下を見ると、これやっぱりスケールを合わせておいていただかないと、
0:17:37	ちょっと図面としては不正確かなという気がします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:40	すいませんができる範囲で結構ですから、スケール合わせをお願いします。
0:17:47	はい。中部電力浅井です。はい。承知いたしましたちょっとその通り、こちら上として見た時にですね、
0:17:53	座りスケールがあった方がイメージしやすいかと思いますがちょっと修正の方していきたいと思います。
0:18:01	はい。お願いします。それと同じ資料 3 番の 9 ページなんですけど、
0:18:08	これこの 9 ページのずって後で出てくる。
0:18:12	断面宣伝時の図、それがそのまま入ってるんですよ。そうすると、ここで、
0:18:18	①①②②とかいうのが何の説明も何かここで唐突に出ちゃう。
0:18:25	ですよ。
0:18:26	なので、
0:18:29	こういう、ここでは、断面のこと言わなくて形状のこと言ってると思うので、
0:18:34	断面記号を消していただくとか、あと、その中のちゃんと注意書きをつけて、読めるように、
0:18:42	よろしくお願ひしたいんですがいかがですか。
0:18:45	はい。中国電力遊佐です。はい。大変申しわけません補足説明資料の方ですね、ご指摘の通りかと思ひましてですね、
0:18:52	断面番号をちょっと抜いたものを、止水目地の配置というところにつけております。そのあとに断面説明するところでまたそういう、
0:19:00	今回はその平面図に断面番号をつけたものをつけるというふうにしておりますちょっと同じようにですね、読みやすいように、ちょっと図のほうを修正していこうと思います。はい。お願いします。なんか順番としてぱつと断面をつくってきちゃうと、
0:19:13	一体これは何だっということになってしまうので、
0:19:16	あと、
0:19:17	同じ添付資料のね、18 ページ。
0:19:22	見ますと、ここ③③断面、
0:19:26	これは 9 ページの③③断面と 18 ページの③③断面って聞いている位置違いますよねこれ。
0:19:34	これ多分 18 ページのほうが誤記ではないかなと思うんで、この修正もあわせて、よろしくお願ひしたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:44	はい。1億円です。はい大変失礼いたしました。主ちよつと3番、3番目。修正いたします。
0:19:51	はいよろしくお願いします。次が資料ナンバー4番。
0:19:56	54ページ。
0:19:58	これちよつと先日の議論でこれ、先ほどもちよつとご説明あったんですがRCN使われた時にエンドースされてる2005年度版に書きかえましたって話。
0:20:09	それはそれでいいんですが、これちよつと、
0:20:13	なぜここでRCM持ってこられたんですか。
0:20:16	ちよつと他の土木他全部同基準なんすよね。ここだけRCM持ってこられたので、その理由をちよつと説明していただきたいんですが。
0:20:25	はい。中国電力の広域です。そうですね今回、遠藤されているRCM基準2005年を持ってきているというところでございますが、RCM基準に冒頭にですね適用範囲書いておまして、
0:20:39	その中では鉄筋を使用する、発電を原子炉施設の主要な鉄筋コンクリート造、建築物のうち地震力を主に耐震式で負担し、健康な地盤に支持される建築物について適用可能と。
0:20:51	いう記載がございまして、今回、ケーソンということで、原子炉施設の鉄筋コンクリート構造物の一部であるというところと耐震駅の検討で考慮する、面内せん断
0:21:05	これに関してもケーソン、面内せん断を考慮しているというところからも踏まえまして、現在も適用可能であるというふうに判断をしております。規制庁の三浦です。
0:21:15	これ例えばね、土木基準で、その前許容労働と今日せん断力ってみんな土木仕様書かなんか持ってきたじゃないですか。
0:21:24	ここであえて、
0:21:28	RCM、申し訳ないんですがRCのサノ策定者としては、ケーソンなんかで前年等にしていないので、
0:21:35	なぜここで土木示方書を持ってこないで、RCM持ってこられたのかな、ちよつとその理由をもう一度説明をお願いします。
0:21:44	はい。中期戦略予算です。
0:21:46	今回この計算をする経路につきましては
0:21:50	年内センターというところがあるというところでですね連盟内剪断土木基準の報告書にあまり記載がないというところも含めましてちよつと弱。
0:22:00	すんませんデスクRC基準というところを使っておりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:05	一つがですね、
0:22:07	まずそうです。以上となります。
0:22:10	面外せん断
0:22:12	組織が土木系だと明確なのかないと。
0:22:33	なんで、
0:22:39	いや、ちょっとね、気になったのが、やっぱり適用基準、ある基準で設計されたものを通して、
0:22:48	体系の中で整理されるべきだと思っていて、これを京写するときには、土木対応、これを照射するときは建築の持ってくるよっていうと、はたから見るとねいいとこどりしちゃうんじゃないかなっていうふうに思うんですよ。
0:23:01	ですから、そのRCMを持ってこられたってということに対して、別にそれが悪いと言ってるわけではないので、
0:23:09	ただそこんところ、なぜ、
0:23:12	ここでは、土木体系によらずにRCMを持ってこられたのかってことを少し明確にさせていただきたいと思うんですね。
0:23:24	はい。中国電力の伊沢ですはい。承知いたしましたと、こういったところですね、救急の考え方といいますか、これを少し整理してまた、
0:23:34	そうですね
0:23:35	あとでねこの照射サッカーを見てみると、発生応力に対して②と④の計装に関しては、土木の使用者の協力で使ってますよね。
0:23:47	③番目に関しては、放水炉んの、
0:23:53	ケーソンってことで法政ロケーションということでRCで使ってくると。
0:23:58	教育見解が違うので、調査方法も変わってきますよね。
0:24:02	圧縮力とは主コールドと、あと、
0:24:06	あれやってんじゃなかったっけな。
0:24:09	せん断下でやってるんですね。
0:24:11	そうすると何かこう、
0:24:13	0204 と。
0:24:16	③断面で、
0:24:18	照査方法調査方法も違うし、
0:24:21	許容値も違うってことになってるんですが、その辺ってのはどういうお考えですか。
0:24:28	はい。中国電力の伊佐です。江藤丸に何名丸 4 段目については的にはですね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:35	通常の計算といいますか鉄筋コンクリート造の計算となっております。で、一方でこの③断面のケースにつきまして
0:24:43	水路計算というところで少し図の方見ていただきたい。
0:24:49	ものが違いまして非常にマッシュなものとなっているというところでね。はい。
0:24:57	お願いします。
0:24:58	す。今のところはね少しなんかどういう考えで、
0:25:06	その基準適用の考え方、調査プロセス、なぜ、
0:25:12	②、④断面と③断面が違うのか。
0:25:15	ていうところは、もうちょっときちっと説明をしていただいた方が、
0:25:21	やはり今後のことを考えても、こういう話って、
0:25:26	よく出てくるんで、何らかの幅がやっぱり要るんじゃないかなというふう に思うんですよ。
0:25:31	ちょっと中国電力社の考え方ってのは少しまとめていただきたいんですがいかがでしょうか。
0:26:02	規制庁矢崎ですが。
0:26:04	基本的に土木なら土木建築の建築っていうことで、通常への公認って いうのは、
0:26:10	確かに土木構造物を、建築の
0:26:14	RC基準で設計した時代もあって、それは否定するものではないんです が、
0:26:19	であるならば、僕は重要構造物は全部、終局のものは別としてね。
0:26:24	うん。
0:26:26	すべて。
0:26:28	RCMでやるべきじゃないですか。
0:26:30	そういうと、
0:26:31	形をとらないと、なぜRCMでいいのかって話になっちゃいますよね部分 的に。
0:26:38	確認ですけど、この③断面だけが、
0:26:42	基本的に、いわゆる現土木の機器基準の方がキョウチ小さいですよ 昔の協力の方でいうと、
0:26:49	うん。
0:26:50	出ていない、1.09もないんで、確か0.7 幾つぐらいしかないですよ ね1.5 だと、まあ、
0:26:57	7

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:59	加重に対しては、2 倍まで割り増しCっていても、0.9 ニュートンぐらいですよね。
0:27:05	だから、
0:27:06	基本的にはその
0:27:08	付近状態の、
0:27:12	プレーンのコンクリートとしてのせん断としてはそのぐらい。
0:27:15	という感覚で、
0:27:16	いるわけですよね。
0:27:18	で、
0:27:20	そんな動きが入ってないって油金入ってないってことですね。
0:27:24	うん。
0:27:25	だけど、基本的に
0:27:28	RCAで行ってその部分がある程度、
0:27:33	無視して疎器具があるなしを無視してっていうのはあくまでベースマットだけの話ですよね。
0:27:40	だから、
0:27:42	面外に荷重がわかんないすからね。
0:27:45	建築の場合は、
0:27:49	ほとんど面内が主体なんで、
0:27:53	それからすると、
0:27:55	例えば今、土木の基準でやって、
0:27:59	ただいま、さっき断面が 0102 だけ。
0:28:04	③④。
0:28:06	基本的に県土木の基準でいけるのは、
0:28:09	どこまでなんですか。
0:28:19	ですよね。3 以外ですよねそう認識なんですけど、いわゆる 3、3 の部分 嚢胞水路というふいわゆる既設ケーソンが放出量のところになっただけ ですよね。
0:28:28	今、例えば、
0:28:33	小、すべてが概ね弾性範囲内である必要は、
0:28:38	なくて、
0:28:42	ある程度阻止機能が存するしなければいいっていうのが、基本的には 我々の基準なんで、
0:28:50	すべて例えば、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:53	200 ページで厳しいのはこういうところだけなんじゃないですかそうでもない。
0:28:58	これ以外は、
0:29:01	応力平均化してるところだけじゃないの。
0:29:06	はい。中国電力吉尾でございます。今回共同計算でお示ししている範囲は、ほとんどわずかなところでございます。耐震の方は若干もう少し広い範囲にはなってるんですけども、連続して壁全体が、
0:29:20	もたないそういった構造にはなっております。もたないっていうか、止水性能を確保する部位はどこまでであれば、説明がつくんですかっていうことだと思っんですよね。
0:29:31	はい。中国電力ヨシツグでございます。
0:29:35	今回の部位自体で海側から陸があまりかなり広い範囲。
0:29:39	衛藤。
0:29:40	これ、今後、
0:29:42	13 メーターぐらいの厚さがあるんですけどもそのうちの、
0:29:45	衛藤陸側の一部分
0:29:47	のところのみが今そういった状況になっているので修正としては、例えば不履行終局。
0:29:54	それで、このいわゆる概ね弾性範囲をちょっと超えて中国に至ったとして、主要国のまでに到達しない。はい。塑性化範囲だとして、
0:30:05	機能喪失します機能ってのはいわゆる津波防護施設として、はい。中国電力吉見でございます。
0:30:13	まず、津波防護施設としては、構造の強度の話と止水機能という話があると思っってます構造強度は、先ほど言いました通り、
0:30:22	終局強度には十分余裕がありますので、持ってると思っっています。止水性のところについては、一部の部位、一部の部位の今度、局所的なところが、
0:30:32	超えてはいるかもしれないですけど、その前面の海側の辺りについては健全なコンクリートが繋がっっていると思っっております。以上です。
0:30:42	うん。だからとって、
0:30:44	すべての施設にね、RCヘッドを当てはめる必要はないんじゃないのって言ったらいいんだけど、違っいます。
0:30:52	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。おっしゃられる通りで、
0:30:58	すべての部品、椎野。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:01	用いることは必要はないと、我々も今回理解できました。はい。例えばですね、その部分っていうのは、今小底盤度の建築から土木にすりかえたときに、どの範囲までが平均化。
0:31:15	受ける必要があるのかっていうのをまず整理してもらって、非常にその数に、下部の部分、いわゆるこの、
0:31:24	これ、放水こうでしたっけ。
0:31:27	遂行の株の過半の下の部分であれば、特にそこって、
0:31:33	既往限界を超えてるだけの話で、
0:31:36	例えば鉄筋航空、
0:31:39	とかね。
0:31:41	超えていないとかいう説明の仕方だっただけだし、
0:31:46	いわゆる機能喪失ず、そういう意味ではだから、RCMでもいいわけですねその場所だけだったら、
0:31:53	幾つかの視点に立ってRCMとか曲げ降伏とか、いろんな形を見た上で、特段大きな損傷に至ってない、中学部直を見たとしてもこの局、
0:32:04	局所的な話で、基本的に、
0:32:09	機能喪失しなきゃいいんで。うん。もともとはその許可では概ね弾性範囲にとどめるとはしているけども、機能的には、
0:32:20	1の部分ですよねテーマの付けの各駅と築山あたりですよ。ここが、その一部だけが、もし、
0:32:29	鉄筋降伏を変え、声として、もう基本的にはほぼ機能喪失はしないですよ。
0:32:37	我々が確認しなきゃいけないのは、
0:32:39	昨日察するかしないかなんで、
0:32:42	そこを終端にして、ちょっといきなり乱暴な、
0:32:48	方針の変更はやめていただいて、
0:32:52	そうそうしないと今まで審査してきたオク中も含めて、じゃあ、建築と土木のね、基準、どっちにして設計するのかって僕話に結局なってしまうんで、
0:33:04	今までここまで長い時間かけて審査してきたこともあるので、
0:33:09	少なくとも
0:33:12	機能喪失が、喪失がないのであれば、我々はそれを、
0:33:17	受け入れざるをえないので、
0:33:20	その辺はですねうん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:24	話を簡単にするために、大きな乱暴な歩一部の方針変更するんじゃなくて、ほんの局部で誰も納得するような数字書きで、
0:33:34	ちゃんとそこに関しては、昨日、
0:33:37	喪失はしないという説明をした方がいいと思うんですけどいかがですか。はい。中国電力、吉住でございます。
0:33:44	今の江崎さんとあと三浦さんのコメントを踏まえまして、まず我々としては土木構造物ですので土木の基準でももちろんやっていきたいと考えておりますので、まずその結果をお示して、
0:33:54	どういったところの局所的なところの部位の一部分かっていうともお示しをした上でその部分が機能喪失していないという説明として、
0:34:06	衛藤。
0:34:07	例えば平均かもしくは、RCの基準で言うところの、
0:34:11	概ね弾性の範囲内に入っているとか、そういった局所的な一部の解釈としてですねそういったものを使うというのも含めて、ちょっとこのあたり、耐震の方も含めてですね、もう一度ご説明の方させていただけたらと思います。以上です。
0:34:26	規制庁の江崎よろしくお願ひします。そもそも土木と建築と、今日設計法の中でその協力とか違うなぜかっていうと荷重が違うから、土木の場合は、
0:34:37	限定した使い方はしない式けども建築限定した使い方が可能なんですよね。
0:34:44	用途を
0:34:46	ある限定化されていて、土木の場合はトンネルも含めて、橋梁もそうだし、あらゆる単なる主道路ショウガンもそうだし、いろんな状態のものを、
0:34:58	想定して作っているんで、荷重のばらつきがすごく大きいと考えていて、特に動圧なんかも、静止度集まれば手動動圧もあるし、
0:35:06	必ずしもその分圧が、
0:35:09	大きいから、安全側とは限らない。
0:35:12	ていう場合もあるんですよね。例えば底盤なんかだと、
0:35:16	うんうん。
0:35:17	運動圧が大きいと、縮軸力が高くなっちゃうんで、
0:35:21	いわゆる出版料もキャンセルしちゃうんで、鉄筋が進んでいるということで、逆に、
0:35:26	鉄筋が合う度圧が小さい場合も含めて計算しろっていう道路を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:33	どこの道路高の
0:35:35	だけど道路公園の設計容量とかそういうのもあたりするわけですしいろんな観点からするとばらつきが大きくて、
0:35:43	多少、
0:35:43	その協力設計っていうのは、最後の協力等の
0:35:47	安全余裕の中に全部押し込めている設計方なんで、違いが出てるんですよね。
0:35:53	そういったことも考えていくと、
0:35:56	また委託料もそうですけど土のね。
0:35:59	そういったばらつきも考えていく等を、ある程度こういった地下構造物は割と土木構造物の方がいいけども、ただその中で、鉄筋降伏するかしないかって、Niってのもあるでしょうし、
0:36:12	AMIよりも基本的にはほとんどを、
0:36:15	MIとか、基本的にはこれ剪断なんですけど、
0:36:18	せん断の終局せん断力と比較して、どっちを使うかっていう判断もあるだろうし、
0:36:25	少なくとも
0:36:27	協力度という部分でこの部分としてはそんな大きい訴訟には至っていないっていう判断をするために、その仕様としてRCMつ積極的にそれを使うっていうのは別に、
0:36:38	その参考として、反対はしませんけども、
0:36:44	全部のものをそれ適用するのはちょっといかがなもんかなと思いますんでその辺は、もともとあった設計体系全体の設計体系がどうも設計体系で、いや、構造解析をみんなしてきてるわけなんで、
0:36:56	その中から考えたときに、いや、いきなり協力を、全体的にそれを抜本的に変えるってのはちょっと、
0:37:05	ハタの目からすると、いいとこ取りしか映らないので、それはちょっと我々としては認めがたいと思いますよ。
0:37:16	はい。中国電力ヨシツグでございます。再度整理してまたご説明の方さしていただきます。以上です。
0:37:48	規制庁見るんです。あれですよ、隔壁の支持機能だけなのかな。
0:37:53	もともとこのRCNRC基準等全く一緒に、
0:37:59	共同実験結果から見てる強度式なので、強度そのものを判定するには、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:05	全然問題はないんだろうと思うんですよね。これじゃ 94601 持ってきてるけどこれも実験結果から持ってきてる。
0:38:11	式なので、
0:38:13	そこんところちょっと物理的には、これを強度として扱っていただくってことには異存がないんですけど、やっぱりその今言った体系の中で、
0:38:21	ここだけを、建築国庫地区全体は土木なんだけどこの、
0:38:26	共同応力度の部分だけを建築持ってくるってやっぱりちょっと、
0:38:31	気持ち悪いっていうか、前段として見る。
0:38:36	よく庁内でも話になるんですけど、荷重を、
0:38:41	どういう荷重を設定するかってプロセスも違うわけですよね。
0:38:45	それに対する調査結果として協力をどうとるかっていうんで、体系的にそこを全部こう通ってないと、いいとこ取りになっちゃうっていう可能性があるんで、ちょっと今先ほど吉住さんが言われたように、
0:38:57	土木調査をやってみて部分的にRCMで共同して使っていただくってのは特に異存はないんですけど、
0:39:03	ちょっともう一度、ここんところ考えていただくってことでよろしいですね。
0:39:09	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。もう一度ちょっと考えてですね、再度ご説明の方さしていただきます。以上です。はい。お願いします。あともう1点なんですけど、
0:39:20	これ先ほどもちょっとご説明になられたんですけどね。
0:39:25	綱MEの郷土史共同計算の時には非線形解析使っていないですよね。
0:39:32	これ多分、耐震のものをそのままスライドしてきて、
0:39:37	るから、コウセイソクとか全部入っちゃう。
0:39:40	てますよね。
0:39:42	これは主、使っていないならば削除していただきたいんですやはり、
0:39:48	耐震計算では非線形解析を使っているんで、それはそれでちゃんと説明をしていただければいいと思うんですけど。
0:39:55	共同計算全然使ってなくて、調査結果にもひずみは資産が全然出てこない。
0:40:00	なのに、コウセイソクとか、途中でこうフローチャートもう非線形使うんですよみたいな話が入ってくるとですね、見てる上から見ると、使ってもいないのに何でこんなものたくさん出てるんだろうなというふうになっちゃうって思ったんですよね。
0:40:13	ですから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:14	やっぱりそこはもう使ってないものを使ってないものを情報が削減削除していただくのが基本だと思うんですね。
0:40:24	じゃないとこちら側としても少し混乱をしてしまうので、
0:40:29	その辺をちょっと修正をお願いしたいんですがいかがですか。
0:40:33	はい。中国電力伊佐ですはい、承知いたしました。すみません耐震東京都考え方は基本同じというところで、
0:40:40	記載をさせていただいたんですけども、ちょっと結果としてはそういった変形を使ってないということだったんで、おっしゃる通り使ってない載せるのも、すみません、混乱を招くだけだと思いますので、ちょっと
0:40:53	材料設計の方、共同計算の方は削除していきたいと思います。失礼いたしました。ちょっと手間になってしまうかもしれませんが、
0:40:59	いろんなところに非線形の話出てくるので、ちょっと資料も全部チェックしていただいて、
0:41:05	そこんところは線形で全部行うんだってことを明確にしてください。よろしくお願いします。
0:41:12	チューブで2分冊承知いたしました。
0:41:14	はい。私からは以上です。
0:41:47	はい。規制庁日浦です。それでは、私の方から、
0:41:53	ちょっと確認です。
0:41:55	資料④の、
0:41:58	112 ページ。
0:42:04	ここから 112 ページから、
0:42:08	評価結果ということで 2 次元解析の結果が出てきていて、
0:42:14	るんですけど、
0:42:16	結果としては最大の照査値が表です、出ていって、断面力が出ていて、所達が、
0:42:25	セキマースってということなんですけど、
0:42:28	この表だけを見ると曲げモーメントがマイナスであって、
0:42:35	多分、推測していきなさいいけないんですね。
0:42:41	入力溶液の松木の部分のところに踏まれがかかるんで、このぐらいの値になってってということなのかなあとかですね、そういうふうには思っていて何が言いたいかっていうと、
0:42:53	場面力図ってつけられないですかっていう話。
0:42:57	ですんで、これは
0:43:02	断面力の方向とかもわかるような形にしてもらって、それでこの結果、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:10	津波次長常時ということとあその他の
0:43:15	防波壁も、断面力図がなければそこも載せてもらうのと代金計算値の方もですね、なければ入れていただいた方が、多分、
0:43:27	この表だけ見ただけだとなかなかなんなことか、わかりにくいかなと思うので、そこについては、断面力を入れていただきたいと思いますが、いかがですか。
0:43:36	はい。中国電力伊佐です。ちょっと一つ、すみません。言い訳になってしまふんですけど例えばた 15 番牛木のマークであれば、ビームを 1 本入れておりますので、そこから断面力っていうのは、
0:43:50	ぬ技術しやすいということで、そちらも今、資料上は載せているという状況でございます。一方でこの波返しの方はですねモデル上平面ひずみ、
0:44:00	D棟、ちょっとモデル化している手前、その要素から一つ一つ引っ張ってきてそれを、
0:44:06	合算して、断面でございます。ちょっと計算してというところをやっているところでございます。ちょっとすみません断面力僕みたいですね、高さ方向のところちょっとなかなか。
0:44:18	ちょっとお見せしにくいというのが現状というところなんです。一方でちょっとこの数字だけでナカノあたりちょっと、
0:44:25	どういう状況ではわかりにくいのかちょっと、
0:44:28	そういうイメージ図になるのか、どういったお示しの仕方がいいのか少しちょっと考えますが、何かそういったものを、
0:44:35	つけさせていただきたいちょっと考えさせていただけたらなと思います。はい、わかりました。次をかなと思ってたんですけど荷重の伝達のイメージっていうのがわからなくて、外力がこうかかっていますと。
0:44:48	それに対して反力としては地盤にこんな反力がかかって構造物はこんな断面力がかかりますっていうイメージがあれば、
0:44:56	それであれば平面ひずみでも表現できるのかなと思うんですけどそのあたり、そのようなイメージ図をですねどこか入れていただくことは可能でしょうか。
0:45:11	はい。すみません中国電力麻生です。はい。ちょっと今先ほど私が申し上げたことを含めてどういった出し方で、そういう、この調査してるかとかですね、そういったわかるようなもの。
0:45:22	もう少しつけさせていただきたいと思います。
0:45:26	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:26	それはよろしくお願ひします。あとすいませんこの中 112 ページから出ている流力擁壁なんですけど、これは
0:45:36	壁の部分と、基部コンクリートっていうか、この底盤の部分っていうのを、すべて含まれてるってことですかね。ちょっとどこどこ、どこを見てるのかよくわからなかったんですけど。
0:45:52	少々お待ちください。
0:46:08	すいません。中国電力伊佐です。お待たせいたしました。
0:46:11	60 ページ、4 番の資料の通し番号 60 ページをお願いいたします。
0:46:20	60 ページ 4、14.1-1-2。
0:46:23	の方は月でも少し、
0:46:25	見ていただきますと、今回特に調査範囲としてるところが、
0:46:30	上の重力擁壁。
0:46:32	とキーボードで今つけ根 1、一番下の臼井水道ですか。
0:46:37	10 分力飛び出してる場所のつけ根の照査しております。
0:46:43	はい。
0:46:44	あ、すいませんもう 1 回いいですか。ごめんなさいですね。
0:46:48	衛藤。こちらいいます。16 年のエレベーション 6.5 メーターと書いている 1、
0:46:54	これは大体地表面、
0:46:56	となりますが、エースこちらの位置で調査をしております。
0:47:01	考え方としては地震なり津波もそうですけども、そこで揺れたりするときが一番うち大きく、
0:47:09	なりますこのつけ根というところで調査をしております。
0:47:15	当期分コンクリート分のところじゃなくて壁のところっていうことですかね。
0:47:23	はい。中国電力ヨシツグでございます。
0:47:26	その通りでございますして伴のところで行きますと、長さが抵抗の方が強くなりますので、薄くっていうモーメントが一番、
0:47:37	大きくなる場所はどこだということで詳細位置を決めておりまして、今言いました。
0:47:44	いえる 6.5 の、
0:47:46	直上の、
0:47:48	16 用品、本当の擁壁部分の、
0:47:52	要素を一律、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:55	足し合わせて評価コメント等を出させていただいております。以上でその辺りはちょっと記載がないので、ちょっと算出方法も含めまして、先ほどの荷重伝達のイメージとかダムず、
0:48:07	ちょっと検討させていただきます。以上です。はい。ではそのあたりよろしくをお願いします。はい。私から以上です。
0:48:26	はい。規制庁仲村です。私の方から確認とちょっと追記記載のところですね、コメントしたいと思います。資料の4番の、
0:48:37	26 ページですね。
0:48:42	えーっと、
0:48:44	この
0:48:45	縦断図っていうか、
0:48:48	断面の図ですね、これをちょっと見てて少しわかりづらかったんで、って思って、要するに上の、
0:48:56	擁壁のところとケーソンがあるんですけども、それ、どこがどの範囲なのかなというのをちょっと見づらかったんですね。それでちょっと見てて気づいたのが、
0:49:06	まず凡例のところで、
0:49:09	防波壁っていうのがあるんですけども、黄緑があって、ケーソンもないんですよ。
0:49:17	凡例のところで、だから、もしあれだったら、凡例のところにケーソン入れてもらって、色をちょっと変えとかしたら、その上の図っていうのがどこか。
0:49:29	ケーソン区間なのか。
0:49:33	岩盤の直接種。
0:49:36	指示簿。
0:49:38	ていうのがわかりやすくなるかなと思ったんですけど、まずその点いかがですか。
0:49:44	はい。中国電力伊佐です。はい。
0:49:47	ありがとうございます。まず、ちょっと今回こちらの判例の考え方というところでございますが今回この暴排機、
0:49:55	の何か19につきまして、
0:50:00	はい。私も、はい。
0:50:02	承知いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:03	すいません。考え方として防波壁、19人計算含めて防波壁というふうに考えてちょっとこういった凡例の方をしておりました。ちょっと先ほどおっしゃられたことも、
0:50:15	わかりますのでちょっと凡例スクリーンを追加をして、ちょっと見やすいようなものにしたいと思います。以上です。
0:50:23	はい。
0:50:35	何とか、
0:50:38	そうだね。
0:50:44	す。
0:51:02	ああ。
0:51:10	そうですね。ちょっと私もその言葉の定義が、
0:51:13	擁壁って出てきたり、ケーソンって出てきたりというところがあったんで、ちょっとその辺は今、他の方からもありましたけど、ちょっと定義っていうか、ここ、その資料の中で統一して、
0:51:27	誤解を受けないようなところですね、そこについてはお願いします。
0:51:31	で、合わせてですけども、それ、図をわかりやすくしたところですね、その上のところに今一般部とか、
0:51:41	改良地盤部とかって分けてると思うんですけど、
0:51:44	ケーソン部とか、そういうのが、
0:51:50	この絵があったらわかるかな、その辺はちょっとわかりお任せしますが、延長とかその辺がわかるような、他のところも、
0:51:58	同じようなコメントしてるんですけども、お願いしたいと思います。あとすいません、もう1点はここの図の中で、以前、
0:52:08	他の方とか、ガム質問したかもしれないんですけどもちょっと再確認したいのが、
0:52:15	この断面図でいくと一番左の方に、
0:52:20	2号機放水炉っていうのがあるじゃないですか。
0:52:23	これは、
0:52:25	ここを断面として選ばなくていいっていうのは何か、今まで説明されました、或いは資料中にどっか書かれてるんですかねっていうのは、この絵を
0:52:35	ちょっと構造とかがわかんないんであれですけどこの絵だけ見ると、
0:52:40	今③断面っていうのを、
0:52:45	っていうのの比べると、割と何か開口部が大きくなってるように見えてしまうんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:55	まずその点、
0:53:03	よろしいですかね。はい。中国電力吉住でございます。
0:53:07	設置許可当時になるんですけども、この2号、
0:53:12	木野放水炉とその周辺を今
0:53:16	この26ページでいきますと周りをちょっと黒っぽいMMRコンクリートで埋め戻している。
0:53:22	ところと、ケーソン、3号炉、3号機の放水量のところについては、
0:53:28	回り検層がいるという、という状況等、あと、
0:53:32	水路の穴の大きさなんですけれども、こちらの方が3号の方が、2連の、
0:53:39	花が行けるようなかなり大きな内腔断面になっておりまして、ハウスイの方は、その半分、
0:53:46	程度だったと思いますんで、それをもちまして3号炉の方の、
0:53:51	衛藤。
0:53:52	内管名の方が日英、
0:53:55	ヒロイということでこちらの方、説明していたと思います。ちょっと
0:54:00	今回の工認の方の資料にその辺の
0:54:03	ものがございませんので、
0:54:06	この
0:54:06	2号、2号炉と、3号炉の放水炉を含めて、と。
0:54:11	この3号が選んだというところをちょっと追記させていただけたらと思います。以上です。はい。基本的には、くす設置許可の時で説明されてるということですよ。
0:55:00	はい、中国電力ヨシツグでございます。
0:55:03	お待たせいたしました。はい。
0:55:06	こちらの方の3号機の方の放水を選んでは理由をですね、こちらの評価対象断面のところ少し地域の方をさしていただけたらと思います。表現の方法とあと、
0:55:18	どこに記載するかはちょっと検討させていただけたらと思います。以上です。
0:55:23	はい。規制庁中村です。要するに見落としがないよというところをですね、気にしてコメントしたんでちょっとその点だけ。今言われた通りで、検討してください。
0:55:35	続けてですけども。はい。
0:55:46	たよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:51	はい。続けて資料 4-37 ページですね。
0:55:57	これちょっと確認なんですけども、
0:56:04	すいません、まず 31 ページとかですかね。
0:56:09	31 ページのところで擁壁のところの、
0:56:14	壁の高さですけど今、漂流物対策工って書かれてるところが 8000。
0:56:20	8500 ですかね。で、1 枚めくってもらって 33 ページも 8500 ってなっ て、
0:56:28	次、35 ページを見ていくと、6500 とか、
0:56:35	37 ページは、7500 とかってなってるんですけど、これ現場ずっと辛い時 になってるじゃないですか。そうすると下のところがあるところでこうド ーンと。
0:56:46	高さが変わるみたいになるってことですか。
0:56:50	ただ単にそういうふうになってるのかどうかの確認だけですけど。はい。 中国電力ヨシツグでございます。
0:56:59	20、すいません 6 ペイジー。
0:57:02	ちょっとこれ全線載っておりますので、ちょっとそれを使いながらご説明 をさせていただきたいと思えます。まず 31 ページ、33 ページにつきまし てはこの赤色で書いてあります。
0:57:15	鴫田向きの面、
0:57:16	こちらについて、
0:57:19	EL6.5 メーターになっておりまして、
0:57:22	そこから下側に南側に折れ曲がっているところここからですね、
0:57:29	敷地の中のものはないということもございまして、ちょっと構造が変わって おりまして、
0:57:36	先ほどの 35 ページの、
0:57:39	8.5、5 メーターというところになっております。ですので
0:57:45	同じ面で、そういったところが出てくるというものではございません。それ と最後の 37 ページにつきましてはこれ端部のところございまして、
0:57:54	先ほどの 26 ページで言うところの、
0:57:56	従来が一番、
0:57:59	下の平面図の右にあります、岩盤部って書いてあるここ 5 段目のところ なんですけれども、
0:58:06	ここ
0:58:07	実際の岩盤を掘り出してやっております、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:10	その関係の岩盤の出ている、健全な岩盤が出ている高さに合わせたということで、このレベルになっているというものでございます。以上です。はい。
0:58:20	規制庁仲村ですけども一番聞きたかったのはその 37 ページのところの 7500 なんですけども、その岩盤を切り込んで、出るところの、
0:58:31	一番最大のところが 7500 でそこからすりついていて、
0:58:36	短くなっていくっていうふうになってるっていうことですよ。
0:58:40	はい。中国電力ヨシツグでございます。おっしゃられている通り、岩盤の山の斜面の方にすりつけるような構造となっておりますので、15 メーターの高さのところすりついていくような形で、構造となっております。以上です。
0:58:56	はい。MACCSが 7500 っていうことでそれでいいと思って思いますんで、その点については確認できました。
0:59:06	続けてあと 2 点ほど、61 ページですね。
0:59:15	解析モデルのところなんですけども、
0:59:18	ちょっともう、以前聞いたことあるのかもしれないんですけど今 61 ページで言うと 33 断面があつて下の方。
0:59:27	絵があるんですけどそれをもとに、
0:59:31	上のモデル図が引かれてるんですけども、今、例えば、
0:59:36	構造物のところ、
0:59:39	ですね、主方向。
0:59:42	盛り度とかに置き換えてるっていうことだと思うんですけども、
0:59:46	これ、
0:59:47	ただ単に単純に盛り度、一番聞きたいのは、森竹 2 項を置き換えて、コンクリートの構造物をやわらかいものにしてるから保守的だっていうような感じのこと。
1:00:00	言われてると思うんですけど。
1:00:02	取水槽とかって、空洞があるような構造物じゃないですか。マッシュなもんじゃなくて、それで、
1:00:10	こういう形で本当にモデル化していいっていうのは何か説明とかされるんでしょうか。
1:00:23	すいません中国電力ヨシツグでござちょっとご質問の趣旨が最後取水槽、
1:00:29	でっかいここ 3 号機の放水設備って書いてそのことでよろしいでしょうか。はい、放水槽、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:37	中国電力ヨシツグでございます。はい。
1:00:41	ここで躯体についてなんですけれどもこれは
1:00:45	3号キーで今回耐震性説明しない、ハウスイの方の構造物でございます。衛藤屋外重要土木構造物の方でもう少し
1:00:56	隣接モデルのモデル化の考え方を少しご説明しているんですけれども耐震性のない、こういった構造物につきましてはより度圧がかかるように、埋戻動、
1:01:07	あのもモデル化をするということの方針にしております。で、今回この一井につきましては
1:01:16	Sクラスの機器、
1:01:18	等が載っているような構造物でもございませんので、単純にこの防波壁そのものの、
1:01:24	耐震性と強度といったものを今検討しているところでございますのでこの、
1:01:29	剛性というよりはより、
1:01:32	ドアツアがかかるとなるとモデル化をさせていただいております。以上です。はい。わかりました言われたらすす聞いたことあるかなって感じにちょっと思いましたんですいませんでした。それは確認だけでした。
1:01:47	あとすいません最後ですけど、63ページですね。
1:01:52	で、まずこれ確認したいのが、
1:01:55	多分、
1:01:56	落ちてると思うんですけど63ページの上の方で、
1:02:01	千田。
1:02:02	ハイウオーターのところですね、C、これって海水ですよ。凡例とかが他のところは海水であって、水色になってるんですけども、
1:02:12	例えば62ページなんかは、
1:02:16	海水という凡例があって水色になってるんですけど、63ページもこれ海水を見てるってことですねその白い色塗ってないところっていうのは、
1:02:27	まず確認です。
1:02:32	はい。中国電力サービスは63ページの5断面につきまして
1:02:40	当然ハイウオーターレベルのみ書いてまして一通りこちら左側のところは、
1:02:44	甲斐須磨海を示したようなモデルとなっております。
1:02:49	はい。いや、入ってないんです。これは何でAですね。
1:02:54	ちょっとそうです。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:00	すいません。はい。
1:03:11	あ、すいません、君。
1:03:13	ちょっと確認しますけど 2、
1:03:16	あれですね。はい。2223344 はFLIPで計算をしている断面でございますので、入っております。で、5 番目はちょっとこちらの、冒頭申し上げました安全解析でやっているところでTWでっております。このTタップの方では
1:03:31	こういった液体はそうで確かない。
1:03:34	はずなのではい。モデル化していないと。
1:03:37	んですはい。
1:04:10	より、
1:04:28	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。
1:04:32	磯田蒲生氏ここ 63 ページのところ
1:04:36	江藤水の荷重として、こういったメッシュをモデル化しているものではございませんのでちょっと不適切な表現になっておりまして、これを修正させていただきますまして、海水の
1:04:46	条件等につきましてはモデル化もしくは条件のところですね、きちんと記載をさせていただきたいと思います。以上です。
1:04:55	はい。
1:04:57	規制庁仲村ですけども、
1:05:00	町この絵が間違いがないというか、基本的なところはですね、わかりましたけど、正確性が足りないところがあるというところは修正しておいてください。
1:05:11	あとそこでもう 1 点ですけど、サイトバンカ建物っていうのが、
1:05:17	すいませんよくわかってないですけど、
1:05:19	下にはって上には何も考慮されてないみたいになってるんですが、それは、
1:05:24	どうなってるっていうのを説明していただけますか。
1:05:28	はい。中国電力の伊佐です。
1:05:30	この埼玉化建物につきましては岩盤上に乗っている建物となっております。こちらにつきまして建築の方で説明をさせていただいております。
1:05:44	はい。
1:05:45	はい、おっしゃる通りでございます。今回
1:05:48	評価につきましてはモデル上ですね、サイトバンカは、
1:05:53	お金が載ってるというところで

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:57	この防波壁今回対象としている防波壁について影響ないというところで、
1:06:01	物はあるんですけどもそのモデル化はしていないというところで、
1:06:04	こういった記載をさせていただいております。
1:06:08	すいません。それはどこかに文章で書かれてるっていうあれ、今言われたんですか。すいません。そういった、中部電力の宗です。そういったところちょっと記載ができておりませんのでちょっとこのモデルの考え方というところでは、
1:06:22	追記をさせていただこうと思います。そうですね。トータルでいうと、図のところとかの考え方で、今さっきの海水のところとか、
1:06:33	ちょっとこう言ってきになるようなところは注釈入れるなりですね、どうせこう突っ込まれる可能性があるんだったらそういうところはちょっと、
1:06:43	記載を充実っていう形でしてもらったら、
1:06:47	よろしいかと思しますので、お願いします。
1:06:51	私からは以上です。
1:07:21	その原則論から辞められた。
1:07:26	隣接通がちょっと気になるとか、幾つかあって、
1:07:29	今まで言われてる、
1:07:32	原則論最初決められたデータ部分と矛盾しない。
1:07:37	はい。
1:08:11	サイト banca 見て、
1:08:16	今までご説明した原則論になってる。
1:08:21	はい。規制庁の谷内です。ちょっと教えてください。
1:08:26	当ページ 6 ページ目の、4 枚目の資料の 6 ページ目のところ、
1:08:33	防波壁のう。
1:08:35	範囲を変えてて、
1:08:37	岩盤部と改良地盤場って書いて、さっきも話が出てたんですけど、
1:08:43	このコード概要のところでは、基本的にケーソンの話を書いてて、
1:08:49	計装の設置部等、
1:08:51	それから岩盤能直接支持部、
1:08:54	の説明を、内容の方でしてるわけですね。
1:08:57	この辺、やっぱり、
1:08:59	文章等、
1:09:01	表現をしてる、図面があっない感じがするので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:07	ここで言わんとしてるのはケーソン等、ケーソンの設置分はどこで何番の直接事務がどこで、どういうことをやってるかっていうことを説明してる話なので、
1:09:19	例えば、
1:09:20	ページの 26 ページ目。
1:09:28	これで言うと、
1:09:30	岩盤部わあ、岩盤部と計算の絵が一緒に書いてあるから、係数はこの辺に入ってるんだってことはわかるんですけど、
1:09:40	こういう図面を先に持ってきて説明をしないと。
1:09:45	最初の全体の構成がわからないんです。
1:09:49	で、
1:09:50	この辺のデータは 42 ページ目のところにも、
1:09:54	確かに書いてあるんです。
1:09:56	法放水炉ケースは、ここで検層はここでとか全部書いてある。
1:10:02	せっかく書いていただいてるんだけど、
1:10:04	図面がバラバラDになってるので、
1:10:08	ここんとこで言わんとしてるのがあっち行ったりこっち行ったりしてて、わからないんです。
1:10:13	またここで言わんとしてるのケースがどこにあって、
1:10:16	ていうことをきっちり説明するんであれば、
1:10:19	この辺のデータをもっと最初の方にきっちり書くってことをしないと、最初の方で元が全然、
1:10:27	違う絵が書いてあるので、
1:10:30	言わんとしてるのが伝わらない。
1:10:32	と思うので、
1:10:33	この辺の位置図、位置関係、きっちり説明をしていただきたい、記載していただきたいと思うんですけどいかがでしょうか。
1:10:44	はい。中部電力の伊佐です。はい。
1:10:47	先ほど三浦さんがされた通りのこととかぶるところだということでご説明してる内容とその、
1:10:54	なんすかね。言いたいこと、その他、
1:10:57	マッチしてないというところで急にこんな名称でなんだと思ったら、後ろの方に書いていると。
1:11:02	ということですね。
1:11:03	だと思えますんでちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:06	説明している名称が先に出てしまったとか、いくつかあると思いますのでちょっとそういったところ、
1:11:12	ちょっと修正させていただきたいなと思います。はい。よろしくお願いします。
1:11:21	はい、中国電力吉浦、ちょっと
1:11:24	今、
1:11:26	ちょっとわかりにくいな。
1:11:27	アビルかなと思ったのは6ページ目では、
1:11:31	設置しているが岩盤なのか改良地盤なのかということを書いて、構造概要のところでは、
1:11:39	計算の部分なのか、岩盤の直接支持の部分なのかと、そういった記載になっているところが多分わかりにくいという、ご説明だと理解いたしましたので、
1:11:51	本来は、岩盤部分なのか改良地盤部分なのかと、岩盤部分、その設置しているものが直接、ケーソンがあるのかどうかというその、ちょっと二つのことを今一緒にご説明している。
1:12:06	駄目だと理解いたしましたので、ちょっと構造概要の方、
1:12:10	に図面を追加するとかですね、改良地盤に接しているケーソン部分だとか、あとちょっと文章をふやすというところをちょっと、
1:12:20	検討させていただけたらと思います考え方としては、
1:12:24	今申した主に6ページ目では、どの岩盤なのか改良地盤に設置しているのかと。
1:12:29	2、7ページ以降
1:12:32	そのものの構造として、どういう設置の仕方をしてるのかっていうのをちょっと分けて記載をしたいという趣旨で記載はしてたんですけども、ちょっとわかりにくいというご指摘だと思います。検討させていただけたらと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。
1:12:46	それからですね、
1:12:54	評価、4番目の資料の、
1:12:57	23ページ目、25ページ目のところ、
1:13:14	評価対象断面、
1:13:16	赤井であって、これは、被災、
1:13:22	記載しているんですけど、
1:13:25	この評価対象断面として選定したところが、
1:13:30	どの計算になってるのかっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:33	今の 42 ページ目の絵を見ないとわからないですか。
1:13:45	中国で別です。はい。
1:13:46	42 ページもそうですけども、その前のですね
1:13:55	31 ページ。
1:13:58	鷺見衛藤。
1:13:59	岡井ランダウア断面についてはこういう、
1:14:02	2 段目のケース、構造図、
1:14:05	31 ページになります。
1:14:07	というところは付けさせていただいております。以上です。
1:14:13	そうすると、31 ページの断面図で見たら、
1:14:18	これと対応してわかるってことですか。
1:14:25	確かにわかる。わかる。わかりますね。わかりました。了解です。
1:14:30	それからですねえ。次、43 ページ目のところ、
1:14:39	次は解析の話のところなんですけども、
1:14:54	等、
1:14:55	これは評価対象部位と書いてあって、施設の地盤の健全性評価のところに、
1:15:01	2 年 4 年要素法による健全性の評価対象は、ここ、これをします。
1:15:07	三次解析によって、
1:15:10	施設の完全評価対象ケースですって書いてあるんですけど、
1:15:15	二次元有限要素法と、
1:15:19	3 次元構造解析、この関係について、
1:15:25	説明している部分ってどっかにありますか。
1:15:35	一応 Phenix 少々お待ちください。
1:15:57	基本的に何をうんとしてるかという、2 次元故 20 年有限要素ではこういうことやります三次元はこれやりますって書いてあるんですけど、
1:16:05	基本的な二次元有限要素でやった結果を 3 次元
1:16:10	構造解析の方に引き継ぐを、荷重とかそういうのを引き継ぐんだと思いますけど、
1:16:15	そういう解析の流れが、
1:16:19	ちょっと見えなくて、そういうことを説明してる部分がどこにあるのかなってちょっと思ったんです。
1:16:26	そういうフローをきちり書いておかないと、
1:16:31	3 次元構造解析ではこういうことあります二次元ではこういうのやりますとわかると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:36	後ろの方でも書いてあるところあるんですけど、
1:16:38	じゃあどういう引き渡しをするのかっていうのがちょっと見えないんです。
1:16:48	はい。ちようどすみません、お待たせいたしました。1017 ページをお願いいたします。
1:17:00	ちょっと 17 ページの方ですね、今回共同計算フロー。
1:17:05	ええ。
1:17:06	17 ページの図 2.3-1。はい。ここでですね二次元、
1:17:12	木野中央に入って書いてるフローが二次元有限要素法で、
1:17:16	その右にあるのが 3 次元構造解析になっておりましてそこから矢印が、
1:17:22	右伸びてる箇所がございますそこで引き渡しをしていると、というようなところでございます。
1:17:27	ちょっと、このことは書いてるんですけども、文章中としては 10 ページ。
1:17:33	なっております、
1:17:37	イトウ、
1:17:38	共同評価の検討フロー示すとしかちょっと書けてないので、ちょっと
1:17:43	二次元 3000 円。
1:17:44	もう少し記載を、
1:17:47	文章の方でさせていただいたほうがわかりやすいかなと。そうですね文章等含めて、こういうフローをきっちり書いといていただくと、荷重を引き当てするとかそういうのが、
1:17:59	わかるかなと思うので、フロー、
1:18:03	一応間完備していただければと思いますけれども、
1:18:07	よろしく願います。
1:18:14	そうです。
1:18:25	そうですね。
1:18:27	あと、
1:18:29	ちょっとこの後でもお話ししようかなとちょっと思っていましたけど、実態としては物体力を表が表現するために、二次元のモデルから、
1:18:41	加速度なんかを取り込んでるんだと思いますけど、その辺も書きっぷりが非常に、
1:18:48	わかりにくいので、どっかで記載をしておいていただいて、2 次元と 3 次元の関係性をわかるようにしといてください。
1:18:59	はい、中国電力浅井ですはい承知いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:01	3次元の方ですね一応、いろいろフローとか乗せてですね2次元が何かやっておりますというのは、
1:19:08	キーワードじゃないですけどそういったを載せていったただ一方ちょっとおっしゃる通り少し読みにくい状況とか、前段の方の方は全体の流れわかりやすいところがあると思いますんで、ちょっとそういったところで、
1:19:19	修正をさせていただきたいと思います。
1:19:23	はい。
1:19:28	戸建てにどういう引き渡ししてるのかってのはどっかで書くでしょうけど、それが見えないので、
1:19:34	はい、よろしくお願いします。
1:19:37	今日は、
1:19:38	それから50ページ目のところ、
1:19:44	ちょっとあちこち飛んで申し訳ないんですけど、50ページ目のところ、
1:19:48	荷重の組み合わせの話が載ってるんですけど、
1:19:53	これは
1:19:58	ケーソンのところの荷重の作用図を書いていると思うんですけど、
1:20:03	それ以外に、
1:20:06	岩盤の直接支持部の、
1:20:10	これは5段目のところだからやってないのかな、よくわからないんですけど、
1:20:16	荷重が直接施術される部分の荷重の作用図については、
1:20:24	どっかに書いてありますか、逆にやってないから書かないのかちょっとわからないんですけど。
1:20:32	はい。中国電力ですちょっと現状ですねこちら50ページにお示しているのが
1:20:38	1例としてこういった格好で荷重がかかりますというところをお示しております。
1:20:43	5断面であっても、基本的な考え方は同じかなと思っておりまして、ちょっと現状、そういった、5番目に特化したりというのはないというところですね当然、ケーソンの位置が違ったり、海水のレベルが違ったりとかしてるので、
1:20:59	若干かかり方は違う、同じような荷重が当然加わってるんですけど、形状としては違ってるので、こういう荷重がここに加わってますっていうのを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:10	当然、計算もやってやってるし、坂氏自分はやってますって宣言してるので、そういう表現をしておかないといけないかなと思ったんで、
1:21:21	今、
1:21:22	記載を追加していただければと思って、
1:21:25	話をしました。
1:21:28	はい。10 億円でございますはい、承知いたしましたこの考え方はですね、
1:21:34	他の断面にも同じように展開しているというところだったりとかですね、ちょっと
1:21:39	少し記載の方考えさせていただきたいと思います。はい。よろしくお願いします。
1:21:44	あと 150 ページ目のところ、
1:21:49	これはですねえ。
1:21:53	文章中に、
1:21:56	3、これはそうか。これ 3 次元の非線形構造解析はやらなかったんですね。だからこれはさっき言った部分で全部なくなっちゃうから、影響ないんですね。
1:22:07	削除するということなんでこの中身の話だったんですけど、止めます。
1:22:12	やめます。いいですよ。耐震の方ではあるんで、何か言っとけば。そうですか。
1:22:18	ちょっと。伊勢。
1:22:21	託しぶりのところ 3 行目のところに、
1:22:25	的を有する隔壁のモデル化にあたっては鉄筋の付着が流行な領域を鉄筋コンクリート製要素とすることをモデル化するって書いてあるんですけど、
1:22:36	その敵の付着が有効な領域っていうのは、どう判断してどう決めてるのが、
1:22:43	言葉では書いてあるんだけど、
1:22:45	どこにも、
1:22:46	記載されてないので、
1:22:49	実態として鉄筋の範囲は鉄筋はこっだけ、ここだけ入ってます。
1:22:54	それをどこまで領域として判断したんですっていうのは、いるのかなと思ったんで、
1:23:02	はい。上限で返さずはい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:05	共同計算処理はすいません先ほどご指摘いただいた通りこちら消そう と思っております。で、耐震計算書の方では
1:23:11	線形解析使っておりますそちらの方で
1:23:15	回答させていただこうと思います。基本的には
1:23:18	鉄筋を考慮してるのはこのA棟、
1:23:21	美馬です。
1:23:22	149 ページの図 5.3. 1-3。
1:23:26	モデルになります。
1:23:28	ちょうど間の隔壁ここで考慮しております。これが、
1:23:32	確かにちょっと5要素が7要素そういったメッシュで、厚さ方向で行って おりまして、その配筋含めて
1:23:42	はい
1:23:44	ドバイ、両側一応とかを、その鉄筋を考慮したモデルに面していたという ところになりますが、そういった色分けとしてですね。
1:23:52	今この書いているところ、具体的にどうやって設定してるかというのを 少し聞き追加していただければ、この隔壁の部分だけしか鉄筋はずら ずらっと入ってなくてそれ以外は入れてないんだということはわかってわ かりました。わかってますので、
1:24:07	ただ、さっき言ったように、
1:24:09	どこまでそれーを半判断して、
1:24:13	ここまでし入れてますよっていうふうに、
1:24:15	いうことの説明をし、
1:24:18	被災しとかなないといけないかなと思ったんでコメントしました。
1:24:25	それから 170 ページ目。
1:24:30	等、
1:24:32	重畳時の荷重のところですよ。
1:24:36	これは慣性力を各詳細時刻における応答加速度から算定するって書いて あって、
1:24:44	透過速度っていうのは、
1:24:46	さっき言った二次元の解析から出てきてるわけですね。
1:24:51	二次元の解析地震をとかせキモデルによるところがだから、2次元のモ デルによる男外を入れたってことを書かないといけないと思いますし、
1:25:02	注水地はどこかっていうと、
1:25:06	大野さんの 6-5 で言うと、
1:25:09	何か薄い点線でずらずらって書いてあって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:14	黄色の点線で囲ってるところが書いてあるんです。
1:25:18	この意味がよくわかんなくて、
1:25:21	要は2次元で出てきてるその要素の部分の加速度を、
1:25:27	この要素の、
1:25:30	この見えてるところをこの部分に入れましたっていう趣旨なのか、このレベルのを舞台に全部入れましたっていう趣旨なのか。
1:25:38	ちょっとわからない。
1:25:40	で、応答加速度を言えば抽出して入れたところの位置付け。
1:25:47	加速度の抽出は中枢市の全設置って接点って書いてあるんですけど、
1:25:52	これをもう少しわかりやすく、
1:25:55	イジゲンとの関わりも含めて、
1:25:58	きっちり書いといていただきたいなと思うんですが、いかがでしょうか。
1:26:02	はい。情報戦略部、はい。すみません。そうですね169ページの方ですね二次元から余震時荷重を算定するというフロアあるんですけども、ちょっと言葉とあと、具体的にどういう、
1:26:15	というのが少し見えにくいと思いますので、こちら、
1:26:19	説明の方確認させていただけたらと思います。
1:26:25	的にはですね
1:26:28	戸松
1:26:30	こちら、黄色で囲って、要は、計算なりますんで図高さ方向がございますんでその、
1:26:37	図前、高さ方向の全節点を引っ張って参りましてそれを3次元の同じように
1:26:43	このモデルに入力していくということをやっております。
1:26:50	はい。
1:26:51	なるほど。同じ関係力を前、
1:26:54	前設定に合わせて、1個1個与えてるってことは、おっしゃる通りでございます。
1:27:00	そういうことですね。だからそこはね。
1:27:05	そういう、そういうところがもう少しわかりやすく書いておいていただければと思います。はい。
1:27:13	以上です。すみません。
1:27:21	規制庁のハットリです私から2点ほど、先ほどタニグチの話を聞いてちょっと1点確認しようと思ったのが1個あって、
1:27:30	これ5号断面を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:32	漂流物衝突荷重って、作用させてますよねっていう、念のための確認だけさせていただきます。
1:27:40	はい。中国電力浅井です。はい。採用させておりますちょっと少しお待ちください。
1:27:48	すいません問4番の資料48ページお願いいたします。
1:27:59	こちら
1:28:00	48ページですけども津波時の二次元有限要素法の方の記載となっております。基本5号断面はですね、ケーソンがないので、神有限要素法及び、
1:28:11	の評価をしております、擁壁のみの評価ということですので、こちらの方がきちんと種協力は入れてございます。
1:28:21	規制庁のハトリですなので、5断面も、漂流物衝突荷重を当たったときは、前面の鉄筋の岩盤への定着だけで倒れないような設計がなされているということで理解をしました。
1:28:35	あともう1点、
1:28:38	④の資料の、
1:28:40	79ページお願いします。
1:28:44	私の読み込みが少し甘いかもしれませんが、
1:28:48	この7断面というのは、
1:28:52	先ほどちょっと止水性って話もちらっと聞こえたんですけども、
1:28:56	この表と強度評価に於いて、
1:28:59	どういう使い方をしているんでしょうか。
1:29:02	はい。中国電力伊佐です。はい。基本は
1:29:06	小沼議員です。ごさいません上構造物でございませので横断方向を着軸として、
1:29:12	これ確認をしております。一方で止水ジョイントアースイメージの話がございませんでその変位量を出すのにこれを使っていると。で、津波基本
1:29:25	津波を受けるこういう開きってのはないんですけども、余震は重畳時は余震が入ってきますのでちょっとこういう地震と同じように、未来の考えでてきますんで、こんな断面ってのは使用しているというところでございます。
1:29:39	規制庁の服部です。ということは7段目にSDを作用させて、その目開きを見ている。
1:29:47	ということで、
1:29:49	SSと同じような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:51	ことをやっているということですか。
1:29:54	その評価っていうのはどっかに書いてあるんですか。
1:29:57	角和気先生ですねその考え方はそういったところでございます。で、調書。
1:30:50	は規制庁のハットリですは 90 ページか、これ。
1:30:54	これですね、さ。
1:30:56	聞いてみたんだなあ。
1:31:01	これを津波でもやってるってことなんです。
1:31:07	はい。
1:31:08	折田ですはい。
1:31:09	権田 90、中央権力採水 90 ページは津波時と先ほどおっしゃった通りちよつと、
1:31:16	津波の荷重の考え方から、
1:31:18	基本、Y方向ですか。
1:31:21	開きはあまり考えていないと、106 ページの方に、
1:31:24	重畳時、
1:31:25	その辺の考え方があってそれ先ほどもおっしゃいました 3 次元的な考え方をしていると。
1:31:32	いうところでございます。
1:31:34	で、
1:31:36	ちょっとSd-Dを作用させているかというところで、
1:31:49	中部電力です 107 ページをお願いいたします。
1:31:53	はい。
1:31:55	考え方は先ほど申し上げた通りでございます、実態、評価する時はですね、ちょっとアンゼンガワニSsの時の値開きというのを少し、
1:32:06	考えて評価をしております。
1:32:08	実際、計算としてSd-Dが、7 番目に、
1:32:14	入った結果ってのはずっと現状、この資料上はちょっとできていない、もう少しお示していないという状況です。
1:32:22	規制庁の服部です今の説明を聞くと、本来は強度評価の時は、
1:32:30	海陸方向に、津波の荷重と衝突荷重、
1:32:36	を作用させ、
1:32:38	アルフォーザ
1:32:40	作用させた場合等、
1:32:42	あとはSDで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:45	余震がかかった場合、
1:32:47	について、変形量を出して、
1:32:51	評価スルーんだけど、
1:32:55	定率制的にS _s の方が目開きが大きいだろうということで今回はやっていないけど、
1:33:02	それは確認しておくっていうそういう理解でいいですか。
1:33:05	確認しておくっていうかそれはそっちの方載せてしまうっていうかそういう理解でいいですか。
1:33:11	はい。中国電力那須はい。
1:33:15	今回余震時で考慮してるS _d -DというのがS _s -Dの2分の1の地震動になってるので、やっぱりS _s の方、基本、大きな
1:33:23	メディアになるというところをもって
1:33:27	今回ちょっと安全側というふうにかういった、
1:33:31	使い方をしております。
1:33:34	規制庁の服部ですごめんなさいちょっと頭が飛んでるんですけど、
1:33:37	重畳時というのは、
1:33:40	そのSD要するに0.5S _s の基本となるSDに加えて、
1:33:47	津波の荷重とカー表裏の衝突荷重をかけてるので、
1:33:51	どっちが大きくなるかわあ、
1:33:53	わからないという形なんじゃないですかというようなことが前提にあって、
1:34:00	その上で、定性的に明らかに、こっちの方が大きいのでっていうことならわかるんですけど、
1:34:07	定性的に明らかに大きいというふうには言えないかなあと思うんですがいかがですか。
1:34:13	すいません、中国電力です言葉足らず申し訳ありません 107 ページを見ていただいて、
1:34:19	図表の 4.1. 2-3、変形量の算定方法というところがございます。ΣXσzというのは横断方向の話でして、衛藤
1:34:32	余震で揺らした状態さらに進めた状態それを含めた変位というのをお示しをしております。
1:34:38	で、
1:34:39	衛藤。
1:34:41	目開き収縮の方につきましては、基本津波と力じゃなくて、地震の力で
1:34:48	目が開くとで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:50	なぜここはS本当であれば、SDの力のみでねRELAPと。
1:34:55	そこを、このΣに限ってだけSs-Dのリーカデュアルですけども、Ssの方の
1:35:02	変位量を使っているというところで、阿部さんおっしゃる通りですね、Σ x シバずっと津波の力が入ってきますんで、そこは、
1:35:10	現状、庄子の計算条件でやっている、でΣ場合だけは少し、
1:35:16	Sd-Dの力だけというところで、
1:35:20	Ssの変形だけを、
1:35:23	Ssで出てくる変形量の方が、完全、確実に安全側と。
1:35:28	いえる判断してええと、
1:35:32	採用しているというところでございます。
1:35:35	規制庁の服部ですわかりましたΣについては確かにSsでやった方が保守的になるというのはわかるんですけど、であればそれらを、この表4-1-2の、
1:35:46	シャンのことを踏まえた、107ページの一番上にある最大変位というこの
1:35:52	号炉5併合力変位というのが5合成変位というかな、これでの評価を、
1:35:58	この強度評価においてもやるっていう、やって、今は示されていないけど示しますということよろしいんでしょうか。
1:36:11	はい中国電力です137ページ4番資料の137ページ138ページに、
1:36:21	その結果を記載しております。ちょっとΣワインのところですね、
1:36:26	実際は実態Ssの結果が入っているところになっております。ちょっとすいません、わかりにくくなってちょっと注記か何かつけてですね、先ほどの説明とちょっと、
1:36:38	整合するようにさせていただいた方がいいかなと思います。
1:36:42	規制庁のハットリすみませんそれは、
1:36:45	不要だと思いますきちんと書いてあるので私の読み込みが少し甘かったということで、すいませんでした。よくわかりました。以上です。
1:37:13	はい、中国電力ヨシツグでございます。はい。
1:37:16	SE数、
1:37:18	を使ってるというところがですね表中の文章等しかちょっと記載がないのでどういう理由でそれを使っているのかというところは、記載をさせていただきたいと思います。
1:37:28	それと先ほどありました津波時は、津波と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:33	漂流物衝突荷重で、重畳時は津波と余震のみですので、そこに漂流物は変わっておりません。すいません。以上でございます。
1:37:47	はい。規制庁の千明です。他は。
1:37:52	規制庁の新垣です。耐震性のところでもお話したんですが、こっこの頭、津波時及びその所を重畳地において、
1:38:03	上部工と計算の一体性ってどっか記載されてますか。
1:38:09	すいません中国電力の宗です。はい。ちょっとこの資料ではちょっと記載せずにですね耐震計算書の方で参考資料ということでお付けさせもらっていました。そこにちょっと津波時の話も含め、
1:38:21	木崎ですがそっちに返してこっちにもうどこかで、一応、
1:38:26	いわゆる検討省略すんですよね。
1:38:28	で計算するんですけど。
1:38:30	計算してるんだったら、その結果をどっかに書いておかないと。うん。
1:38:37	そう。結論だけでも、
1:38:40	うん。
1:38:43	うんだから一応ね、
1:38:44	やってるんだったらやってる紙をさ、
1:38:49	書かないと、やってること。
1:38:54	はい。中部電力ですはい。ご趣旨、理解いたしました津波の方にもですね、この1回生の話というのはきちんとわかるように、はい。
1:39:04	耐震の方でやってるとか、このように載せるか、
1:39:07	はい。
1:39:10	はい、そうですね浸水防護の補足説明書ということで合体いたします。
1:39:15	はい、ありがとうございます。
1:39:23	規制庁の千明です。ちょっと1点だけ確認させてください116ページ④のうちの116ページの、
1:39:33	ところで、5番目のH型工の調査結果が出ていて、
1:39:41	発断面力とせん断応力度が出ているんですけど、そのH型工の有効なせん断断面セキでどのように決めているのかっていうのをちょっと説明いただいてもよろしいですか。
1:39:57	はい、中国MSイソダです少々お待ちください。
1:40:11	はい。中国電力の伊佐です。
1:40:14	55ページをお願いいたします。
1:40:20	このため、
1:40:28	はい、中央病院です

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:31	こちらにつきましては、そうかもしれない
1:40:37	すいません。
1:40:40	今日一型小文字で正無罪の
1:40:44	協力だけ書いておりましたすみませんその断面の断面セキを見てるか というところは、確か。
1:40:50	かけていなかったと思います。現状は衛藤フランジのみを考慮していた 評価でしてせん断評価をして、
1:40:59	いたはずですのでちょっとそういったところ、すみません。
1:41:03	何か書きたいと思います。
1:41:44	はい。規制庁の千明ですちょっとは一井とかですねどんな考え方でいけ るかっていうのをちょっとどこかに入れといてもらえると、はい、わかると 思いますのでよろしくお願いします。
1:41:56	はい。中国電力ヨシツグでございますハイチーズ考え方等についてさし ていただきます。以上です。
1:42:29	はい。
1:42:31	はい。
1:42:32	すいません。
1:42:33	はい中国電力ですすみません、H型工の考え方ですねこちら記載する とともにですね 37 ページの方で、断面の方、
1:42:42	つけておりますが、ここにどういうふうに一応配置されてるかというこ ろも含めて、ちょっとわかるようにさせていただきたいと思います。
1:42:50	はい、よろしくお願いします。
1:42:52	他に何か確認する点ありますか。
1:43:01	はい、中国電力側から補足で説明等ありますか。
1:43:09	はい。一部SsIはいこちらからございません。
1:43:13	はい。
1:43:15	では、すいませんちょっと私、
1:43:18	今日の強度計算書ではないんですけど 1 点何か 46 ウエキのところ耐 震のときに、一体性の話で、巡らしのところ、
1:43:28	で、けんけん式の
1:43:32	試験ですね、引張試験、
1:43:36	はい。
1:43:37	やった写真とかあるんですけど、そのですね、
1:43:43	何ですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:45	構成の器具のところ、何かいろいろ調べたら秩父のところに何かあってそこにロッドを差し込んで、そういう直接引っ張るっていうのはわかったんですけど、
1:43:55	ちょっとその辺がわかるものをですね補足のところにちょっと、
1:44:01	追記いただきたいんですけど、すみませんちょっとお願いですけどよろしいですか。
1:44:07	はい。中国電力の磯です。はい。付着共同試験の話だと思imasるのでそちらの方を具体的にどうやってるかというところ。
1:44:15	記載をさせていただきたいと思imasます。これ、会合し、
1:44:18	で、
1:44:20	まだこれ、
1:44:22	はい。
1:44:23	修正させていただき、追加いただきます。はい。特に急いで急いだ話ではないのでどこかのタイミングで追記いただければと思imasます。
1:44:35	他、よろしいですかね。はいそれでは本日午後のヒアリングの方終了いたします。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。